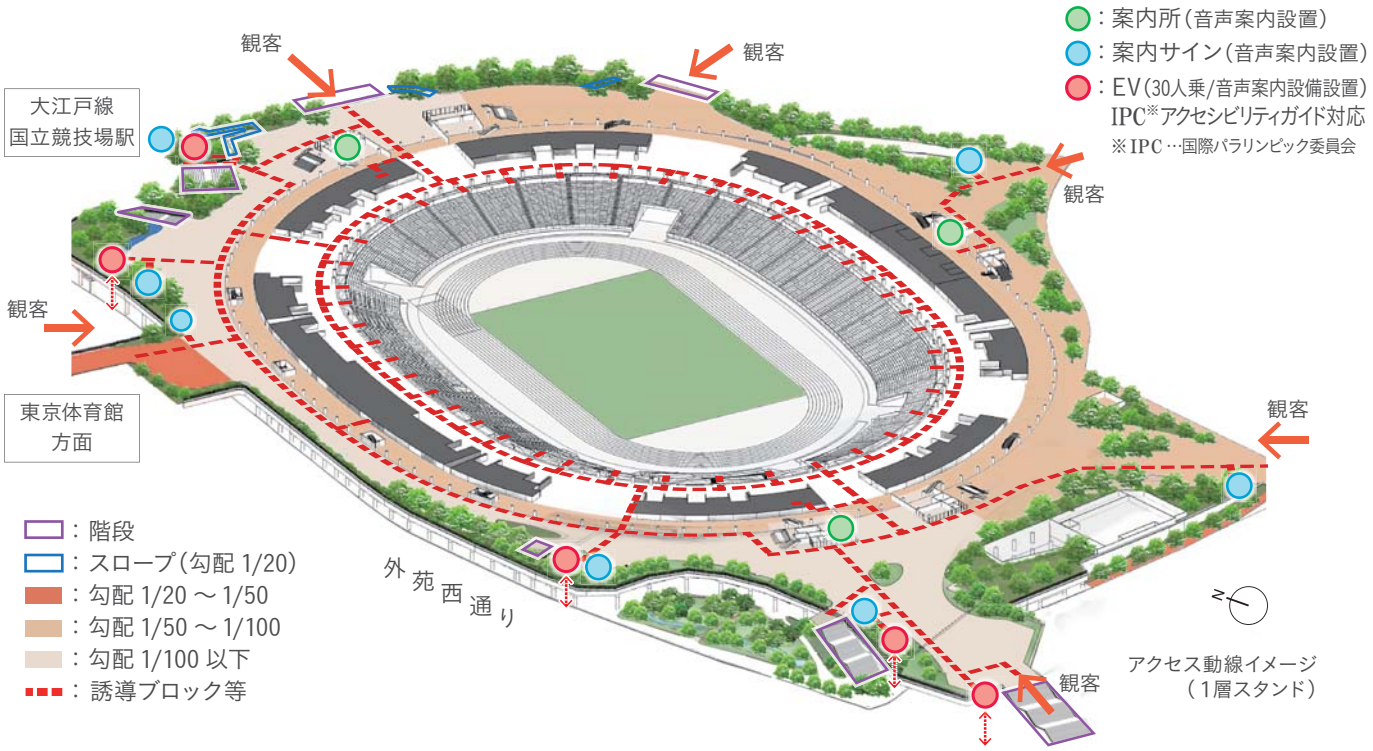
全ての人々をフラットに迎え入れる“みんなのスタジアム”

年齢や障害に関係なく、全ての人が、身体への負担が少なく安全に移動できる環境を整備しています。スタジアムへは緩い勾配でアプローチができ、車椅子使用者や足腰の弱い方でも快適かつ安全にアクセスできます。主要ルートには誘導ブロックや音声案内サイン等を設置し、視覚障害の方を安全に迎えます。



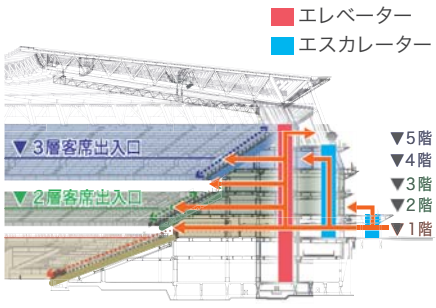
全ての観客席まで安全に移動

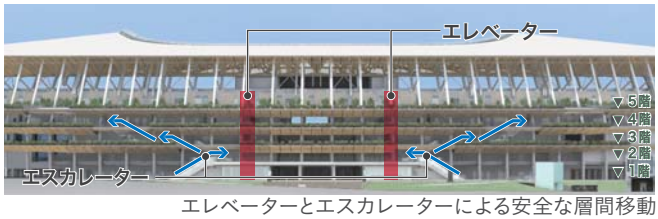
足腰に負担をかけない３層構成のスタンド計画

- スタンドは上り下りの移動距離の少ない3層構成としています。
- エレベーターは全ての階に着床します。2層及び3層スタンドまでのアクセスは専用のエスカレーターを設置し移動の負担を軽減します。また音声誘導等により、誰でも安全に移動ができる施設としています。

エレベーターの主な配慮事項
・かご操作盤（点字対応）
・ボタン（浮文字）
・モニター付きインターホンボタン
・かご操作盤（車椅子専用）
・手すり
・３０人乗りIPC対応
・防犯カメラ

エスカレーターの主な配慮事項
・ステップ４周に区画線
・緩傾斜くしゴム（黄色）
・入口と出口の注意喚起ブロック
・３枚水平ステップ





エレベーターとエスカレーターによる安全な層間移動

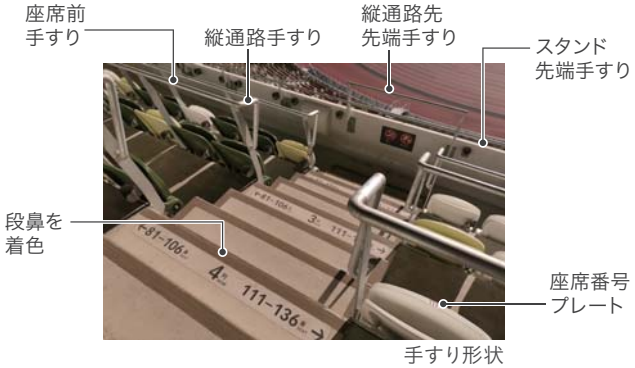
観客席通路空間のユニバーサルデザイン

縦通路への手すり設置

- 3層全ての縦通路に手すりを設置し、足腰の弱い方々の安全な移動に配慮しています。

縦通路の視認性向上

- 通路の視認性を高めるために、観客席の縦通路に着色を施しています。さらに、段鼻（だんばな）部は別の色で着色することにより踏み外し・つまずきを防止しています。
- 座席の折りたたみ座面上部の見やすい位置に座席番号のプレートを設置しています。（墨字及び点字で表示）



手すり形状

Copyright © 大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体